

ふじのくにグローバル人材育成事業 報告書

参加した コース	ふじのくに地域探究コース (静岡と世界を繋ぐマイプロジェクトコース)		訪問国	アイルランド デンマーク	
学校名	静岡県立浜松西高等学校	氏名	鈴木舞歩	学年	3年

探求テーマ

教育や家庭生活など、様々な角度から幸福度の高い国から学び、静岡県の幸福度を上げる

私は生まれも育ちも浜松で、トビタテの探求を通じて地元である静岡に還元したい！という思いがあり、「静岡を幸せな街にする」という目標を立て、7月から8月にかけてアイルランドとデンマークに5週間留学をしました。

探究活動について、日本の幸福度が低いという問題を知ったとき、幸福について興味を持ち、幸福度の高い国との違いについて考えるようになりました。そして幸福度について考える中で、「幸福」そのものに疑問を持ち始め、幸福度の高い国と日本の幸福に対する価値観の違いについて探求することを決めました。また、「幸福についての価値観は人格形成される幼少期が大きく影響している」と仮説をたて、教育と家庭生活に注目しました。

アイルランド

4週間滞在したアイルランドは、ホームステイをしながら語学学校に通い、アンケートに答えてもらったり、先生方にインタビューしたりしました。その中で印象に残っていることは、「幸せですか?」「自分自身に満足していますか?」という項目に対して、ほとんどの人がとても賛成していました。また、家族と過ごす時間をとても大切にしている、子どもがプレッシャーを感じていない、平日の昼でもパブから音楽が聞こえてくる、など自由でゆったりとした雰囲気が幸福度の高い要因だと感じました。

デンマーク

デンマークでは、幼稚園と小学校に訪問し、インタビューや授業見学をさせてもらいました。そこで一番感動したことは、教師として大切なことは何かという質問に対し、「生徒自身が何をしたいのかを考えさせる」という答えが二つの学校で一致していたことです。先生に指示されて動いてきた私はすごく感動しました。

幼い頃から自己決定の文化が根付いており、幸せについて考える機会が多いから各々の幸福の形が確立しているのだと思いました。



幸福博物館

デンマークのハピネスリサーチ研究所が作った幸福博物館は、幸福についてのさまざまなデータや物が展示されていました。様々な角度から幸福について考えることができ、興味深かったです。中でも目玉の展示物は壁一面に付箋が貼られている部屋で、来場者が自分の思う幸せを書いて張っていきます。世界中の言葉で書かれていて、圧巻でした。

このように幸せとの距離感が近いことがとても重要だと感じました。



アンバサダー活動

静岡の良さを世界にひろめるため、森町のいしだ茶屋様に協賛して頂き、ティーバッグ 150 個と折り鶴を配りました。葛飾北斎の柄のティーバッグがとても喜ばれ、日本茶と日本の作品の地名度が高く嬉しかったです。ホストファミリーにはみたらし団子と水ようかんを作りました。

留学を通して

最後に、私が経験することの出来たトビタテでの留学は本当に貴重な体験となりました。アクシデントも自分を成長させてくれました。留学先で出会ったさまざまな人や場所、物との出会いが新鮮でとても良い思い出です。これを機に世界を相手にアクティブになることも楽しめるようになり、今後も世界中に行ってみたいと思いました。また、ゼロから探究活動を考え、ひとりで行動したことも自信につながりました。今後は静岡に還元するべく、SNSでの発信やイベントの計画などに力を入れています。今後も留学の経験を活かし、多くのことに挑戦したいと思っています。

